

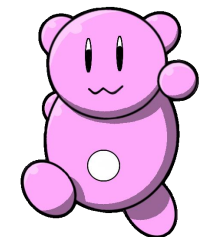
# 難病ソリューションズ

nanbyo-solutions



「困った」を「良かった」に。

<http://blog.canpan.info/nanbyo-solutions/>



751-0872 山口県  
下関市秋根南町1丁目  
3-1 エバーグリーン新下関 1102  
渡邊方  
任意団体 難病ソリューションズ  
電話 083(256)0070  
Fax 083(256)0070  
携帯電話 090-5551-9557



## 3つのプロジェクト

### 1. 相談・支援、提言

難病患者・家族の復職、継続雇用、新規雇用に係るサポートプログラムを提供します。

商品企画・開発に難病患者の声を取り入れ提言します。

### 2. 企画

難病に関する各種講演会やイベントの企画運営、パネリスト派遣を提案します。

### 3. 就労支援

難病患者の社会的スキルを生かし、企業ニーズとのマッチングを行い、CSRを推進します。

## 難病ソリューションズが 目指していること

難病患者の平均的な発症年齢は41歳と言われ、働き盛りで仕事のスキルも熟成された時期であるとともに、家庭では子供の教育費が一番かかるころでもあります。

実態は、就労率はある患者会の調査によると17%に過ぎず、働きたくても働けない人が数多くいます。仕事を継続することができている人でも、周囲の理解がなくて、身体的にも精神的にも苦勞すると答えた人は30%に上ります。

障害者の場合は、就労支援は制度としてほぼ確立されており、企業には障害者雇用率の義務付けがあります。(民間1.8%、今後引上げ予定)。これに対し、難病患者については障害者総合支援法で障害者と同じ扱いを受けられるようになったというものの、法定雇用率にはカウントされないままです。これでは難病患者の雇用促進は進みません。

わたしたち難病患者・当事者が、もっと積極的に蓄積された智慧を、持てる価値を発信し、雇用創成に向けて様々な分野と協働するシステムを作っていくべきではないでしょうか。

- **いつまでも困ってる人ではられない。**  
困ったことがあっても、知恵と工夫で乗り越えてきた経験は、きっと誰かの役に立つはずです。その時、良かったと言えるでしょう。
- **当事者目線での、提言・企画を発信。**  
難病に関する研究・調査についても当事者の立場から研究デザインに提言をすることが可能です。商品開発やイベント企画においても、私たちの気づきや要望が新たな価値を生み出す可能性があります。

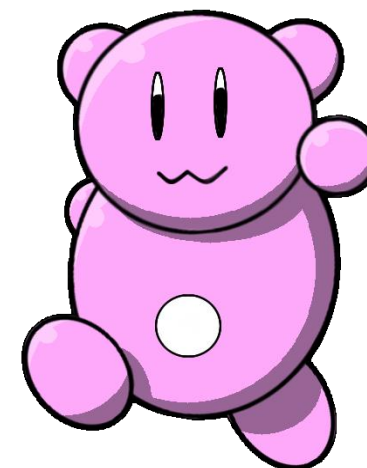
## 難病ソリューションズの これからの活動

難病患者団体に所属している人、個人、難病患者の雇用について関心のある企業・団体、障害者雇用実績があり、更なるCSR展開を目指す企業、新しい分野の企画を考えている起業家の方、など多くの方に集まっていただいて、プロジェクト推進委員会を発足します。委員会で生まれた意見を発展させ、企画化していきます。これと並行して、難病患者の雇用問題について勉強会を定期的に行います。

### 平成26年度活動スケジュール(予定)

難病患者就労実態調査  
シンポジウム「難病患者の就労」  
難病患者の就労を考える勉強会

詳しい日程については事務局までお問い合わせください。



難病ソリューションズ 事務局

TEL・FAX 083-256-0070

携帯電話 090-5551-9557(渡邊)

Mail [rw\\_puni519@yahoo.co.jp](mailto:rw_puni519@yahoo.co.jp)

公式ブログ URL

<http://blog.canpan.info/nanbyo-solutions/>